

平成29年9月八戸市議会定例会一般質問(教育委員会事務局分)

(9月11日、12日 2日間)

※教育委員会事務局分は11日のみ

○9月11日(月)

会派・議員名	発言事項	発言の要旨	担当課	頁
公明党 夏坂 修	1 デジタルアーカイブの推進について	(2) 八戸三社大祭について	社会教育課	1
自由民主・市民クラブ 高橋 一馬	3 教育行政について	(1) 市内小中学校運動部の今後のあり方について		
		ア 市内小中学校運動部の現状について	学校教育課	2
		イ スポーツモデル事業について	学校教育課	3
		ウ 地域でスポーツ活動を支える体制づくりについて	学校教育課	4
		(2) 学校プールの利用状況について		
		ア 現状について	学校教育課	5
イ 老朽化と修繕費について	学校教育課	6		
公明党 中村 益則	2 教育行政について	(1) 部活動指導員について		
		ア 市内中学校の外部指導者の現状について	学校教育課	7
		イ 今後の外部指導者の活用について	学校教育課	8
		(2) 学校プールの現状について		
		ア 授業の現状について	学校教育課	9
イ 施設の現状と今後の見込みについて	教育総務課	10		

資料（提出様式）

質問者(議員名)	夏坂 修 議員
発言事項	1 デジタルアーカイブの推進について
発言の要旨	(2)八戸三社大祭について
質問内容	八戸三社大祭デジタルアーカイブの制作背景、目的、取り組み状況、効果について伺いたい。
答弁者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○八戸三社大祭デジタルアーカイブは、文化庁の補助事業「文化遺産総合活用推進事業」により、補助事業者のあおもりデジタルアーカイブ・コンソーシアムが、平成 29 年度までの 3 年計画で実施し、さらに 2 年間の延長を計画している。</p> <p>○八戸三社大祭は、古い山車の写真等の資料をまとめて見られる場がなく、山車製作等の担い手減少により、歴史や技術の継承が厳しい状況にあったため、記録を収集・整理し、市内外に発信して、後世へ歴史や技術を継承することを目的にアーカイブを構築し、写真を中心にコンテンツを 1 万 7 千件以上掲載している。</p> <p>○アーカイブのアクセス件数は、平成 29 年 9 月現在、174 万件を越え、八戸三社大祭の入込数も増加し、今年度は 149 万 2,800 人に達し、アーカイブの整備が一助となったものと理解している。</p> <p>○山車製作関係者からは、アーカイブで見た写真を山車製作の参考にしたという声も聞かれ、歴史や技術の継承にも効果を上げていると考えている。</p> <p>○市としては、今後とも、アーカイブの PR や写真等の提供、山車組へ仲介を行うなど、アーカイブの更なる内容の充実に向けた支援を行っていく。</p>
担当課	社会教育課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

資料（提出様式）

質問者(議員名)	高橋 一馬 議員
発言事項	3 教育行政について
発言の要旨	(1)市内小中学校運動部の今後のあり方について ア 市内小中学校運動部の現状について
質問内容	市内小中学校における運動部の現状について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○市内小学校 43 校における今年度のスポーツ活動の状況は、学校が主体となって活動している学校は 26 校であり、保護者・地域が主体となって活動している学校は 17 校であった。また、今後、保護者・地域主体の活動へ移行する予定の学校は 7 校となっている。</p> <p>○近年、急激に少子化が進む中、スポーツ活動に取り組む児童も減少傾向にあり、市内全小学校において、この 5 年間に約 25 の運動部が廃部となっている。</p> <p>○中学校も同様の傾向が見られ、この 5 年間に市内全体で約 40 の運動部活動が廃部となっている。</p> <p>○各学校では、学級数の減少に伴い、配置される教職員数も減る傾向にあり、部活動担当者の確保に苦慮している。</p> <p>○小中学校ともに、「専門的な技術指導ができる人材の確保」及び「教職員の多忙化解消」の観点から、外部指導者を積極的に活用する傾向が見られる。</p> <p>○しかし、外部指導者は在籍する児童生徒の保護者である場合が多く、継続的な指導ができる人材の確保に苦慮している。</p>
担当課	学校教育課

◎再質問

再質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	外部指導者の活用状況について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○平成 29 年度の外部指導者数は、小学校 238 名、中学校 121 名となっている。</p> <p>○外部指導者が主担当となって指導するケースや、教員と外部指導者が役割分担をして指導するケースなど、各学校によって関わり方が異なる。</p> <p>○市教委では、県大会以上に出場する生徒や引率者に対して交通費の一部を補助しており、引率を伴う外部指導者も対象としている。</p> <p>○今後、市教委では、外部指導者の大会引率に係る補助事業の各校の活用状況を検証し、事故や怪我等に対する補償についても、先進地等の取組を参考に研究を進めていく。</p>

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	高橋 一馬 議員
発言事項	3 教育行政について
発言の要旨	(1)市内小中学校運動部の今後のあり方について イ スポーツモデル事業について
質問内容	スポーツモデル事業についての概要と取組状況について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○本事業は、小学校期の望ましいスポーツ活動の在り方を調査・研究する目的で、今年度、本市と五所川原市の2市が県教委からの指定を受けて実施している。</p> <p>○市教委では、市川地区をモデル地域に指定し、学校・保護者・地域・スポーツ少年団関係者から構成される委員とともに、地域全体で児童のスポーツ活動を支える体制づくりについて研究している。</p> <p>○第1回目の連絡協議会において、市川地区4小学校の運動部活動と同地区スポーツ少年団の現状と課題についての共通理解と、今後の方向性を確認した。</p> <p>○また、熊本県の小学校スポーツ活動や、南部町総合型地域スポーツクラブの視察を通して、組織や運営体制について情報収集に努めてきた。</p> <p>○今後は、さらに様々な運営形態で活動しているスポーツ少年団や学校を視察し、市川地区の実情・実態に即したスポーツ活動を支える体制づくりについて、研究を深めていきたい。</p>
担当課	学校教育課

◎再質問

再質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	スポーツモデル事業を通して、他県や他市町村を視察した成果と、本市の実情を鑑み、どのような課題があるか伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○本事業の視察は、他県や他市町村の先進的な取組を通して、市川地区の実情に即した在り方を研究する目的で実施している。</p> <p>○熊本県では、平成27年3月、県内の小学校運動部活動を社会体育へ移行する方針を打ち出し、スポーツクラブ化に向けた体制づくりが進められている。</p> <p>○南部町の総合型地域スポーツクラブでは、子どもからお年寄りまで誰でも気軽にスポーツに親しむ環境づくりに取り組んおり、さらに、小学校に外部指導者を派遣する事業も展開している。</p> <p>○いずれの取組も、地域のみならず、各競技団体を通じて外部指導者を確保するなど、今後の当市の運動部活動の体制づくりに大いに参考になった。</p> <p>○課題としては、「指導者の確保」「活動場所と時間の確保」「保護者による送迎や費用等の増加」が挙げられているが、これらの課題解決を見いだす上でも、学校や地域、競技連盟や体育協会等も交えて、市全体で研究する必要がある。</p>

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

資料（提出様式）

質問者(議員名)	高橋 一馬 議員
発言事項	3 教育行政について
発言の要旨	(1) 市内小中学校運動部の今後のあり方について ウ 地域でスポーツ活動を支える体制づくりについて
質問内容	スポーツモデル事業についての概要と取組状況について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○市内小中学校の運動部活動は、児童生徒の健康増進はもとより、自主性や協調性、さらには思いやりの心を育むなど、健やかに成長する過程で、大きな役割を果たしている。</p> <p>○現状として、「団体競技の存続が困難な状況にあること」、「外部指導者の確保が地域によっては難しい状況にあること」が課題として挙げられている。</p> <p>○このような状況下、国では「働き方改革」を前面に打ち出し、教職員の長時間労働是正に向けた「部活動指導員」の導入を制度化した。</p> <p>○しかし、その具体的な内容や経費等の扱いは、現段階では一切情報がない状況である。</p> <p>○市教委では、「部活動指導員」に関する国や県の今後の動向を注視しながらも、現在、各学校で活用している外部指導者の待遇や、万が一事故等が発生した際の補償等の在り方についても、並行して調査・研究を進める。</p> <p>○また、児童スポーツ活動モデル地域研究事業の研究成果を市内全体にも発信し、今後、各学校の実情に即したスポーツ活動及び運動部活動が実施されるよう支援する。</p>
担当課	学校教育課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

資料（記載方法）

質問者(議員名)	高橋 一馬 議員
発言事項	3 教育行政について
発言の要旨	(2)学校プールの利用状況について ア 現状について
質問内容	当市の小・中学校における学校プールの利用の現状（運用期間、設置状況、使用不可の状況）について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	○学校プールを運用している期間は、概ね6月下旬から9月上旬までの期間、天候の状況を勘案しながら開設している。 ○その期間は、水泳の授業として利用されるだけでなく、夏季休業中には、教員及び保護者の監督の下、子どもたちへ開放されている。 ○特に、小学校では、水難事故防止の観点から、夏季休業前の6月下旬から7月上旬にかけて、集中的に水泳の授業を実施している学校が多く見られる。 ○現在、市内小・中学校でプールが設置されている学校数は、小学校28校、中学校20校であり、その内老朽化等で使用できない状況にある学校数は、小学校1校、中学校7校となっている。
担当課	学校教育課

◎再質問

再質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	プールがない学校、または、プールが使えなくなっている学校はどのように対応しているか伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	○平成29年度、水泳の実技指導を実施している小・中学校57校のうち、「プールが設置されていない学校」または「使用できない状況にある学校」は合わせて17校。 ○その17校の内、6校は同じ学区内の中学校のプールを、10校は公共のプールを、1校はその両方を利用している。 ○公共の屋内プールを利用している学校からは、「利用できる期間が長く、天候にも左右されない」という声が聞かれる一方、移動のための費用の捻出が課題である。 ○市教委では、広域的学習支援事業を、公共のプール施設の利用にも活用可能にすることで、学校や保護者の負担軽減を図っている。

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

資料（記載方法）

質問者(議員名)	高橋 一馬 議員
発言事項	3 教育行政について
発言の要旨	(2)学校プールの利用状況について イ 老朽化と修繕費について
質問内容	当市の小・中学校における学校プールの老朽化と修繕費について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○市内小中学校のプールは、最も古いもので築 52 年、最も新しいものでも 24 年が経過している。</p> <p>○これまでも、その都度、学校からの要請を受け、ろ過機改修、塗装工事等の部分的な修繕工事を施してきたが、いずれの学校プールも老朽化が著しく進み、小規模な改修では根本的な解決には至らない状況がある。</p> <p>○学校プール修繕に係る必要な経費については、本体の塗装工事だけでも多額の経費が見込まれており、市内全体となれば、億単位の財政措置が必要となる。</p> <p>○市内小中学校は、学校プールだけではなく、校舎全体の老朽化も進んでおり、子どもたちがより多くの時間を過ごす校舎等の修繕を優先せざるを得ない状況である。</p> <p>○学校プールを含む、学校全体の大規模修繕に伴う整備方針等については、平成 32 年度までに策定する学校施設の長寿命化計画の中で、今後の在り方について検討していく。</p>
担当課	学校教育課

◎再質問

再質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	今後、プールの総合的な施設整備方針について、どのように進めていこうとしているか伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	○プールを新設するのは難しい状況にある。今後の修繕及びプールの利活用も含め、平成 32 年度までに策定する学校施設の長寿命化計画の中で今後のあり方について検討していく。

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	学校プールと体育施設と連携をとりながら、長寿命化計画の早期策定を要望する。

資料（提出様式）

質問者(議員名)	中村 益則 議員
発言事項	2 教育行政について
発言の要旨	(1) 部活動指導員について ア 市内中学校の外部指導者の現状について
質問内容	市内中学校の外部指導者の現状について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○教職員の減少や高齢化に伴い、専門的な技術指導のできる教職員が減少傾向にある中、より専門的な指導のできる外部指導者は、子どもたちの技術向上を図る上で、重要な役割を果たしている。</p> <p>○平成29年度に校長から委嘱を受けた外部指導者は、市内全体で121名となっている。</p> <p>○具体的には、野球、サッカー、バスケットボール等の団体種目に多く携わっており、技術指導だけでなく、精神的なサポートも行っている。</p> <p>○また、競技経験がない教員にとって、外部指導者は頼もしい存在となっており、教職員の多忙感の解消にもつながっている。</p> <p>○しかし、地域においては、専門的な技術指導ができる人材を育成することが困難であり、外部指導者の確保に苦慮している。</p> <p>○さらに「県中体連の規定による外部指導者の引率が認められていないこと」「外部指導者への補償」等、課題未だ多い現状にある。</p>
担当課	学校教育課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	中村 益則 議員
発言事項	2 教育行政について
発言の要旨	(1)部活動指導員について イ 今後の外部指導者の活用について
質問内容	今後の外部指導者の活用について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○「部活動指導員」については、今般改訂された学校教育法施行規則において、「中学校におけるスポーツ、文化、科学等に関する教育活動に係る技術的な指導に従事する。」と規定された。</p> <p>○その職務として「校長の監督を受け、技術的な指導に従事するとともに、大会等の引率を単独で行うことができる。」ことも明記された。</p> <p>○しかし、県中学校体育連盟では、現在のところ「大会の引率は教員が行う。」と定めていることから、「部活動指導員」の引率については、県中学校体育連盟と県教委との話し合いを通じて、引率細則の見直しが必要になると考える。</p> <p>○また、「部活動指導員」の制度化にあたり、予算や体制づくり等、各自治体による検討事項も多く、今後の国や県の動向を注視する必要がある。</p> <p>○市教委では、現在、県大会以上に出場する生徒や引率者に対して交通費の一部を補助しており、引率を伴う外部指導者も対象としている。</p> <p>○今後、外部指導者の大会引率に係る補助事業の各校の活用状況を検証し、事故や怪我に対する補償の在り方等についても研究を進め、外部指導者がやりがいを持って、安心して指導に従事できる環境づくりを進めたい。</p>
担当課	学校教育課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

資料（記載方法）

質問者(議員名)	中村 益則 議員
発言事項	2 教育行政について
発言の要旨	(2) 学校プールの現状について ア 授業の現状について
質問内容	当市の小・中学校における、水泳の授業の現状について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○学習指導要領において、小学校低学年・中学年では、「水遊び」「浮く・泳ぐ運動」を取り入れること、小学校5年生以上及び中学校では、各種泳法を取り入れることが明示されている。</p> <p>○一方で、適切な水泳場や指導者の確保が難しい場合は、実技指導を取り扱わないことができること、また、その場合であっても「水難事故防止に向けた安全指導」及び「救急救命法」については適切に取り扱うことも盛り込まれている。</p> <p>○学校における水泳指導は、全ての児童生徒が早い段階から水に慣れ親しみ、様々な泳法に挑戦することで、体力の向上を図る重要な学習活動のひとつであると認識している。</p> <p>○平成29年度における市内小・中学校の水泳の実技指導は、小学校では100%にあたる43校で、中学校では58%にあたる14校でそれぞれ実施しており、全体の85%にあたる学校で実技指導を取り入れている。</p> <p>○「水に対する安全のための心得」や「水泳の事故防止」に係る指導は、市内全小・中学校で実施している。</p> <p>○市教委としては、今後も各学校における水泳指導の充実に向け、引き続き、支援していきたいと考えている。</p>
担当課	学校教育課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

資料（提出様式）

質問者(議員名)	中村 益則 議員
発言事項	2 教育行政について
発言の要旨	(2) 学校プールの現状について イ 施設の現状と今後の見込みについて
質問内容	小中学校のプールの現状と今後の維持管理について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	(高橋議員と同じ 割愛)
担当課	教育総務課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

